

ワークショップ 10

「消化管マイクロバイオーム研究の現状と進歩」

司会 高山 哲治（徳島大学大学院医歯薬学研究部消化器内科学）
金井 隆典（慶應義塾大学医学部消化器内科）

細菌、古細菌、真菌、ファージ、原虫を含む共生微生物は腸管だけでなく、口腔、食道、胃を含むあらゆる消化管に生息し、宿主恒常性維持に極めて重要な役割を果たしている。近年の解析技術の進歩と汎用化に伴い、今日世界中で、これらの共生微生物の生理学的、病態学的、さらには、治療学的な意義についての研究が精力的に行われている。本 WS では口腔、食道、胃、腸管領域から、広くマイクロバイオームの非臨床、臨床研究を公募し、領域間および基礎・臨床間での活発なクロスディスカッションを期待する。